



後援会の皆様には、日頃より後援会活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成23年度に引き続き会長を務めさせていただいております勝部と申します。皆様の力をお借りして、学生のみなさんが充実した学生生活を過ごすことができるよう、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年は日本各地で記録的な豪雪になるなど厳しい冬となり、この松江も例年ない寒い日が続きました。しかし寒さがいつまでも続かず、やがて暖かい春が訪れるように、長いデフレの時代もようやく終わるような雰囲気になってまいりました。

社会はグローバル化や少子高齢化などにより大きく変わり、教師に求められる資質も変化しつつあります。国の中中央教育審議会で議論されていますように、人格形成の上で昔から重要な要素である人間力は、これから教師には最も必要なものに思えます。そうした中、島根大学教育学部では全国に先駆けた独自の教育プログラムに取り組んでおられ、教師になるためのスキル習得は勿論ですが、たとえば「環境寺子屋」による自然科学好きの教師を育成するユニークな取組みや「1000時間体験学修」での地域の人たちとの触れ合いは、物事を多面的に見る力が養成されることで急激に変化する社会に対応でき、人間力を養う有意義なプログラムであると思います。学生の皆さんにはこのような取組みに積極的に挑戦し、ぶれのない自己を

CONTENTS

- ◆後援会会長あいさつ 1
- ◆教育学部長あいさつ 2
- ◆教師力育成総合支援システム・
学部情報ブログシステム 3
- ◆学生の年間スケジュール紹介 4
- ◆卒業生の声 8
- ◆後援会活動の概要 11
- ◆後援会幹事名簿 12

未来に向かって

後援会会長 勝部 宏悦

確立していただきたいと思います。

本後援会は「島根大学教育学部の発展充実に寄与し、在学生の教育に関し、学部に協力すること」を目的に、昭和27年に学生を支える仕組みとして活動が始まり、諸先輩の方々の熱い想いを受け継ぎ、60年以上にわたり息の長い取組みを続けています。

後援会の主な事業としましては、教育の充実のための支援があります。こうした支援は、教育学部の明確な方針と相まって確実な成果となって現れ、教員就職率のアップにもつながっています。

平成24年度は新しい試みとして、3年生を対象にした体験学修の交通費の支援、そして院生の学会発表等の旅費の支援を行いました。また、現実問題としては希望した職業に就くことが厳しい状況が続いており、4年生の後援会会員の子弟に対して就職活動のための旅費の支援も始めました。

後援会の皆さんには、こうした後援会組織としての直接支援のほかに、職場などのインターンシップや「1000時間体験学修」の受入れなど、学生が学外で活動する場合にも積極的な支援をお願いしたいと思います。

皆様のご理解を賜り、ますます充実した後援会活動ができますよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



確かな教師力の育成を目指す 島根大学教育学部

教育学部長 秋重 幸邦

島根大学教育学部後援会員の皆さんにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から、本学部の教育活動や就職支援活動に多大のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、学校現場において教員が対応すべき課題は、多様化し増える一方であります。学力の向上への課題、いじめなどの生徒指導上の諸課題、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTの活用など、具体例を上げれば切りがありません。一方、今後10年間に教員全体の3分の1が退職しますので、経験の浅い教員が大量に誕生することになります。

このような状況を受け、中央教育審議会は昨年8月28日に「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(答申)」を取りまとめ、「教員養成の修士レベル化」、「新しい教員免許制度の創設」、「教育委員会と大学の連携・協働」などと並んで、大学における教員養成の在り方に対しても、教員としての高度な専門性や社会性に加え、実践的な指導力が身に着くよう、改めて見直す必要があると、指摘しています。

これまで、本学部は、「教育体験活動」を推進力に、「プロファイルシート」、「面接道場」、「学内資格認定制度」といった特色ある教育プログラムを充実させ、教職員一丸となった教員養成教育の改善に取り組んできまいりました。文部科学省の「教育GP」の支援を受け、2008年から2010年に行った環境・理科教育を支援する「環境寺子屋」の活動は高く評価され、新たに2012年度から特別経費の予算が下りています。また、2013年度からは5年計画で、「山陰の音楽文化資源活用

による資質の高い教員養成プログラムの開発」に、特別経費が認められました。

本学部のこうした活動の成果が教員採用率の上昇に明確に現れてきています。本学部の2010年度卒業生の講師任用を含む「教員就職率」は67.3%で、全国の国立系教員養成大学・学部44校の中で7位であったことが、文部科学省のまとめで分かりました。2011年度は、59.6%で全国23位と順位を落としましたが、この10年では2番目に良い数値であります。教員だけでなく公務員や一般企業を含めた就職率は90%以上を常に確保しており、全国でも上位にランクされています。

しかしながら、本学部の改革はまだ緒についたばかりです。本学部を卒立った卒業生が、それぞれの学校現場の中で信頼できる教員として認知され、活躍しているかどうかも、就職率に劣らず重要な指標になります。島根県や鳥取県の教育委員会との連携を一層強化し、協働して様々な形での教員研修に携わっていきたいと思っています。本学部が「教員養成の理論と実践の拠点」として、地域社会や教育界に広く深く認識されるまで、本学部の不断の努力は継続します。

最後になりましたが、2013年度に入学された学生の保護者の皆様、島根大学教育学部によこそおいでいただきました。お子様たちの「教師になるという夢」の実現に向け、我々教員は、一丸となって、誠心誠意支援していく所存であります。保護者の皆さまの本学部へのご支援、よろしくお願い申し上げます。

教師力育成総合支援システム・学部情報ブログシステム

教育学部では学生の育ちを評価分析する独自のシステムを開発し、学生支援や教育改善に努めています。

教師力育成総合支援システムは、平成21年度まで運用していた1000時間体験学修プログラムシステム、プロファイルシートシステム、教師力調査分析双方向システムを統合したもので、平成22年度から運用しています。学生は教師力育成総合支援システム上で、1000時間体験学修の申込みやプロファイルシート入力、教職志向性等調査の回答を行うことができます。そして、いつでも自分自身で、例えば教師力の一つである学校理解や1000時間体験学修などでの自己成長の様子や課題を確認することができるようになりました。こうしたシステムの一元化によって、教員側も学生の現状や学びの成果を多面的に捉えることが容易になり、学生指導に大いに活用されています。

さらに、本システムに蓄積されたデータを、入学年度別、専攻別、進路先別など様々な観点で分析する機能もあり、分析結果は、本学部の教育改善を図る上でとても貴重な資料になっています。

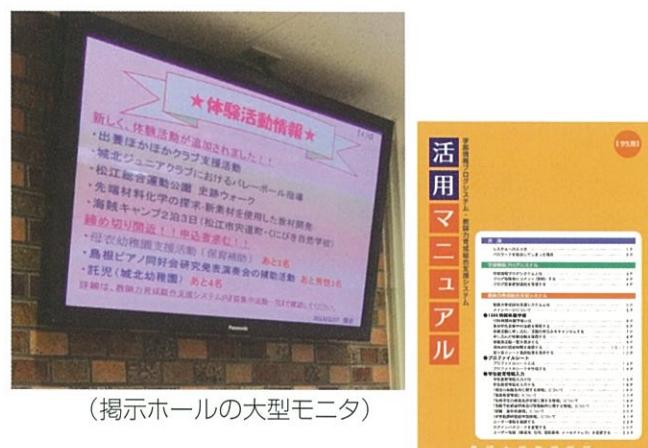
学部情報ブログシステムでは、各担当教員が学生にとって有益な情報を随時配信しています。教員採用試験情報、教員募集情報、学部行事にかかる連絡事項など様々な情報を掲載しています。

また、ブログ投稿者に対してコメントすることもできます。さらに、本ブログシステムにはどれほど重要な情報が掲載されているのか学生や教職員に知つてもらうために(ブログアクセス率向上のために)、平成24年度から教育学部揭示ホールに大型モニタを設置し、新着記事を公開しています。

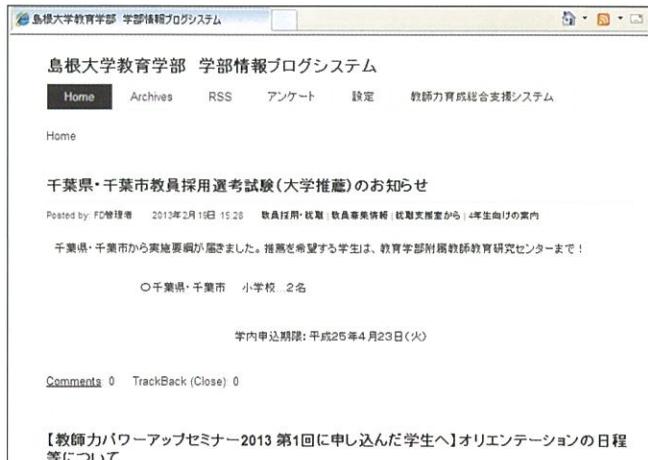


(在学生ガイダンスでのシステム説明会)

なお、この2つのシステムを積極的に利用してもらうために、在学生ガイダンスで説明を行ったり、活用マニュアルを作成し、全学部生に配布しています。教育学部では、今後もこのようなICTも活用し、学生の教育をより推進・改善していきます。



(教師力育成総合支援システムの画面)



(学部情報ブログシステムの画面)

学生の年間スケジュール紹介

1年

入門期セミナーⅠ・Ⅱ

《入門期セミナーⅠ》

初年次教育プログラムの一つである1泊2日のセミナーです。1000時間体験学修プログラムを理解し、4年間の大学生活の見通しを持つことを主な目的としています。4年間を共に過ごす仲間や学生スタッフの先輩との2日間の関わりを通し、幅広い人間関係を築くことができます。1年生にとって、大学生活への期待がふくらむ有意義なセミナーです。



《入門期セミナーⅡ》

※水曜4・5コマ、金曜5コマ開講

入門期セミナーⅡは、主専攻又は副専攻を決定するためのプログラムであると同時に、教育学部で開講されている幅広い授業内容を体験する「教育学部入門」としても位置づけられています。各専攻の講義内容や取得可能な免許の説明を受けることができます。

○○学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○入学式・オリエンテーション ○入門期セミナーⅠ						○大学祭 ○スタートアップセミナー					○基礎体験交流会
	○入門期セミナーⅡ		○主専攻決定					○介護等体験 登録締切			
○専攻決定ガイダンス ○一般教養ちからだめし				○学校教育実習Ⅰ ★ 教職志向・進路調査		○在学生ガイダンス ○副専攻仮決定 (年度末に決定)					○副専攻 決定
		○学校教育実践研究Ⅰ									
○基礎体験合同説明会 ○基礎体験活動開始											

学校教育実習Ⅰ/教員志向・進路調査

学校教育実習Ⅰ(前期・20時間)

附属学校園で5日間、午前中は授業観察を行い、午後は大学で観察のまとめと振り返りを行います。

実習後には、第1回教職志向・進路調査を紙媒体とWebによって行います。



基礎体験活動開始 (1000時間体験学修プログラム)

必修の110時間(基礎体験セミナー・介護等体験など)と選択の400時間の時間認定が必要です。選択の活動では、地域のイベントや社会教育施設の活動、小・中学校での学習支援など、多様な活動に参加でき、各学年で約100時間が目安となっています。



学校教育実践研究Ⅰ

学校教育実習Ⅰと連動して水曜3コマに開講されるコア授業科目です。授業(保育)が教師の教授行為と学習者の学習行動との相互作用によって成り立っていることを知り、授業(保育)観察の方針と授業(保育)記録のとり方を中心に行います。



大学祭

松江キャンパスでは、「淞風(しょうふう)祭」という名称で毎年10月に開催されています。



基礎体験交流会

1・2年生を対象とした基礎体験の意見交換会です。先輩や他専攻生の話を聞き、今後の各自の基礎体験活動の充実を図ります。

スタートアップセミナー

入学時からの基礎体験活動の取組みを振り返る、1年生対象の基礎体験セミナーです。体験時間の確認や活動参加への心構えや手続きの再確認を行います。また、小グループに分かれて体験発表会などをを行い、今後の活動をさらに充実させていくためのセミナーです。



専攻決定

専攻決定に関しては、どのような入試形態で入学したかによって選択できる専攻が異なります。専攻決定のためのプログラムは、「入門期セミナーⅡ」と「学校教育実習Ⅰ」です。

★副専攻決定について

副専攻は複数免許の取得にも直結していますが、主専攻の免許との組み合わせは教員採用試験受験校種や採用後の勤務形態とも深く関わってきます。

学生の年間スケジュール紹介

2年

学校教育実習Ⅱ

学校教育実習Ⅱ(通年・20時間)
附属学校園で行う教科(保育)指導を中心とした観察実習です。主専攻に対応する校種・教科の授業参観・授業協議を行い、ポートフォリオを作成するとともに模擬授業演習等を行うことによって授業(保育)設計の基礎を培います。3年生で行う実習Ⅲを履修するためには、2年生終了時までに下表の中に示した履修資格を満たしている必要があります。

『実習Ⅲの履修資格』

- 【単位修得】
 - ・専門基礎教育科目6単位以上
 - ・学部共通科目6単位以上(教職ガイダンスを含む)
 - ・主専攻専門科目20単位以上(各専攻ごとに条件あり)
- 【教育体験活動】
 - ・基礎体験領域(選択)120時間以上
 - ・学校教育体験領域70時間以上
 - ・臨床・カウンセリング体験領域30時間以上(コア授業科目を含む)

○学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

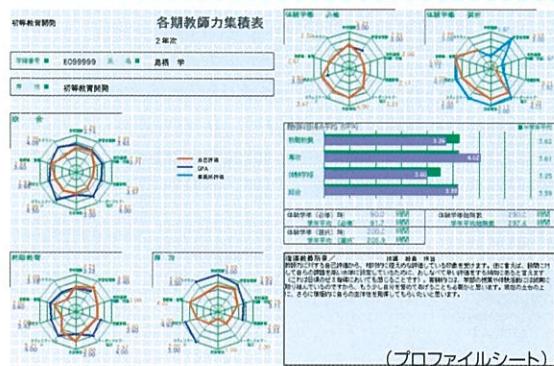
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○在学生ガイダンス					○充実期セミナー			○教員採用試験合格者体験報告会(希望者のみ)		○基礎体験交流会	
○健康診断					○プロファイルシート(PS)作成説明会	○PS返却			★教職志向・進路調査	○教師力パワーアップセミナー(希望者のみ)	
○介護等体験事前指導					★PS入力	★PSまとめ		○C系・G系			
					○在学生ガイダンス					○ポートフォリオ提出締切	
○学校教育実習Ⅱ											
○介護等体験											

介護等体験

特別支援学校及び社会福祉施設(老人ホーム等)であわせて7日間の体験を行います。

<内訳>

- 島根県又は鳥取県内の特別支援学校での体験(2日間)
(例)授業の補助、学校行事等校務全般にわたる補助等の体験等
- 島根県内の社会福祉施設(老人ホーム等)での体験(5日間)
(例)介護・介助、障がい者等の話し相手や散歩の付添い等の交流の体験、掃除や洗濯等受入れ施設の職員に必要とされる業務補助等の体験等



充実期セミナー

2年生を対象に開催される基礎体験セミナーです。各自の取組みの傾向をもとにしたグループでの活動を通して成果や課題を明らかにすることを目的としています。また、学内資格を取得している先輩からのアドバイスを受けることもできます。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組みです。3月の「宿泊研修」には2年生から参加できます。教員採用試験の合格者や現役教員である先輩との交流会もあります。(希望者のみ)



C系・G系

臨床・カウンセリング体験領域における実習で、1000時間体験学修の体験時間としてカウントされます。2年生の後期と3年生の前期に開講され、半期毎にどちらかを受講することになります。C系は個人(子ども・保護者)に対する支援(Counseling)を想定した実習で、相談場面を想定したロールプレイを通して、よりよい聞き方や相手の気持ちに添う関わり方について学びます。G系は学級集団形成など集団における支援(Group approach)を想定した実習で、自分や相手の特性に関する気づきを促すグループ活動を通じて、よりよい学級集団づくりの技能を学びます。



プロファイルシート

大学での学びの状況は、履修単位の成績評価だけで計ることのできない広がりをもっています。プロファイルシートは、そのような学生一人ひとりの学びの成果と軌跡を記録する「カルテ」です。プロファイルシートの作成は、4年間で3回、大学生活の節目の場面で行います。その目的は、教師に必要な能力の総体である「教師力」の修得状況を、複数の評価視点(自己評価、他者評価、客観的評価)によって可視化し、学びの状況とこれからの目標を確認することにあります。

学生の年間スケジュール紹介

3年

学校教育実践研究Ⅱ

学校教育実習Ⅲ・Ⅳと連動して開講されるコア授業科目です。前半は実習班で活動し、後半は専攻毎に分かれて行います。主専攻に対応する校種・教科の授業実践に焦点化し、授業分析や教材研究、教材制作のトレーニング、学習指導案作成と模擬授業を行います。また事後指導では、自らの実習を深化・発展させるための「振り返り」を行います。

学校教育実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ

●学校教育実習Ⅲ（前期・40時間・1単位）

主専攻に対応した教育実習です。附属学校・私立幼稚園の授業（保育）観察を通して、授業（保育）を「教師と学習者のコミュニケーションの総体」として把握し、学校教育実習Ⅳに必要な授業実践力の基礎を培います（人間生活環境教育専攻で幼稚園一種免許型の学生は、私立幼稚園で80時間・2単位の実習を行います）。

●学校教育実習Ⅳ（後期・160時間・4単位）

主専攻に対応し、授業実践に主軸を置いた教育実習です。学習指導に力点を置くとともに、道徳、特別活動等にも取り組みます。学習集団の形成や学級運営に係る実践的トレーニングを行い、教職へのより深い理解と基礎的な実践力の育成を図ります（人間生活環境教育専攻で幼稚園一種免許型の学生は、公立幼稚園で120時間・3単位の実習を行います）。

●学校教育実習Ⅴ（後期・40時間・1単位）

学校教育実習Ⅲ・Ⅳとは異なる校種での教育実習です。学齢期にある子どもを「成長」「発達」の総体として捉え、より豊かな子ども理解を促します。なお、実習を行う校種は学生の主専攻と副専攻の組み合わせによって異なります。

実習セメスター

3年生の後期は実習セメスターとなっています。この期間に教育実習Ⅳ・Ⅴを行いますが、実習を行わない期間を活用して特別に用意された基礎体験活動を行います。公立小中学校・幼稚園に教育体験に行くことができ、教育実習とこの学外教育体験を往還させることによって、より幅広い教師力を身につけることが期待できます。

○学部（大学）行事等 ★Web入力（必須）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習				○学校教育実習研究Ⅱ					○実習セメスター			
講習・その他				○学校教育実習Ⅲ ○実習セメスター説明会		○学校教育実習Ⅳ ○実習セメスター合同事前指導		○学校教育実習Ⅴ				
	○在学生ガイダンス ○健康診断	★教職志向・進路調査			○在学生ガイダンス		○プロファイルシート(PS)作成説明会 ★PS入力 ○PS返却		○応用期セミナー ○教員採用試験合格者体験報告会(希望者のみ)		○教員採用試験合格者体験報告会(希望者のみ)	○教師力パワーアップセミナー(希望者のみ)
	○C系・G系			○面接道場			★教職志向・進路・取得予定の免許状調査					

面接道場[平成25年8月7日(水)開催]

外部の目を通して、教育学部学生に対する期待や要望を学ぶ機会が特別に設けられています。それが「面接道場」です。人生の達人である学部評価委員の方々が、面接を通して社会人としての基本的な資質を伝授してください。学内で事前指導も行われます。



応用期セミナー

3年生対象の基礎体験セミナーです。実習セメスター及び教育実習での活動を振り返り、今後の大学生活を展望するとともに、進路決定に向けての自己啓発を促す時間とします。学外体験活動や教育実習での学びの発表会や進路希望別グループでの協議を行います。



教師力パワーアップセミナー

教師力パワーアップセミナーは教員採用試験への対策や教職をより深く理解するための取組みです。3月の「宿泊研修」に始まり、教員採用試験の面接対策や卒業後の教員生活すぐに必要となるスキルを研修します。教員採用試験合格者や現役教員である先輩との交流会もあり、不安や悩みを解決できるセミナーです。（希望者のみ）



学生の年間スケジュール紹介

4年

学校教育実践研究VI

学校教育実習VI(前期・40時間・1単位)[選択]

それぞれの教職志向に対応し、主体的に選択する学校教育実習科目です。さらに深めたい学習内容や取得したい免許状に基づき、対応した深化型あるいは副免型の実習タイプを選択します。

教師力パワーアップセミナー (未来へ向けて)

このセミナーは採用試験に合格した人、不合格だったけれども講師として頑張ろうと考えている人、つまり来年の4月から教壇に立つ皆さんの未来に向けてサポートするものです。学級担任を想定した「学級開き」の模擬授業やラウンドテーブル、中堅教員との交流会を通して皆さんの教師力をさらにアップさせます。(希望者のみ)

教育情報入力

これらの情報は、同学年や全国の動向などをふまえ、みなさんの就職支援を行う上で有益な情報となります。たとえば、あなたの現在の履修状況と進路希望とのより良い組み合せが発見されるかもしれません。また、教員採用試験を受験する予定の県の情報をログシステムで把握したり、就職を希望する県教委から依頼があった際に、素早く連絡を受けて就職につなげることもできます。

◎学部(大学)行事等 ★Web入力(必須)

■教員採用試験

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒業研究												
教員採用試験												
その他												

◎題目提出締切(指導教員に提出)

■願書提出 ■一次試験 ■二次試験 ■合格発表

◎教師力パワーアップセミナー(希望者のみ)

◎学校教育実習VI

★教職志向・進路・取得予定の免許状調査

◎在学生ガイダンス ◎健康診断 ◎進路希望調査

★在学生ガイダンス ◎在学生ガイダンス(就職・進路調査) ◎プロファイルシート(PS)作成説明会 ★PS入力

◎発展期セミナー ◎教育職員免許状申請手続

◎さらに自分を磨く基礎体験(学校体験を中心) ◎1000時間体験学修時間認定締切り

◎大学院入試(I期)

★PSまとめ入力

◎卒業式 [PS返却] ◎進路状況調査

◎大学院入試(II期)

★教員採用試験・就職活動で変化がある度に就職支援室に報告する。また教師力育成総合支援システムにも同じ内容を入力する。

○教員採用試験 先輩からのアドバイス○

- ◆受験する都道府県を早めに決め、出題傾向を分析
- ◆試験問題にはヤマをはらずに、分析結果をまんべんなく
- ◆二次対策(面接、実技など)も早めに
- ◆提出物は早めに作成、必ずコピー、早めに提出必ず誰かに読んでもらう
- ◆問題集・参考書はあれこれ手を付けても意味がない。同じものを何回も
- ◆先輩のアドバイス、体験談は何よりも貴重
- ◆自分の試験勉強のリズムを早く見つける(息抜きの時間も必要)
- ◆友達の良いところはどんどん真似して取り入れる(仲間は大切)

教員採用試験対策

<教師力パワーアップセミナー> (希望者のみ)

- ◎主に面接(集団・個人)、集団討論の練習
- ◎教育学部の教員や学外の教育関係に携わっている方が面接官をしてくださいます。
- ここでのアドバイスはとても重要。

<就職支援室>

- ◎証明写真の試し撮り、面接の様子を撮影してくれるサービスを開始
- ◎各都道府県の教員採用試験動向情報を提供
- ◎その他の就職相談

<その他>

- ◎教員採用試験受験テキストブックをチェックする
- ◎各種セミナーに積極的に参加する。
- ◎学部情報ブログをチェックする。
- (教員採用試験情報が日々更新)



卒業生の声

わたしの夢は南極大陸に行って
本物のペンギンを見ることです。

初等教育開発専攻 宮原 麻美



「大学で過ごした4年間は私にとってかけがえないものとなりました」とよく耳にしますが、お世辞ではなく私も心からそう思う一人となりました。この島根大学に入学して教育学部で学んだことは、生涯、私の自信となり支えとなってくれるものだと思っています。

私は中学校の国語の教師になる夢をもち、この島根大学教育学部に進学しました。教育学部の魅力の一つである1000時間体験学修では、学校現場の学習支援活動のみならず、子どもとキャンプをする活動や地域の方とふれあう祭りの運営等、様々な活動ができます。この1000時間体験学修で小学生との交流を重ねるうちに私の夢は小学校の教師になることに変わりました。

教育学部は魅力的なところですが、ただ4年間過ごしただけでは意味がないと思います。大学には1000時間体験学修や講義はもちろんのこと、学ぶ場がたくさんあります。その学ぶ場へ自分から動かなければ何も得るものはないと思います。自分が動けば多くのことを学ぶことができます。自分が動けば多くの人と出会うことができます。自分が動けば多くのことを教えてもらえます。自分が動けば多くの人が力となってくれます。全ての人が同じ24時間をもっていても、どう過ごしていくかによって全く違う大学生活となります。ですから、色んなことに挑戦していってほしいと思います。何でも挑戦できるのは大学生の特権です。たくさん失敗できるのも今のうちです。

私は4月から鳥取県の小学校の教員として教壇に立ちます。子どもの前では新任教員もベテラン教員も同じです。苦しいことや辛いこと、涙を流す日々が待っているかもしれません。しかし、私は大学生活中に大切にしてきた「全力で挑戦すること」と「全力で楽しむこと」を続けていきたいと思います。

最後に一言。私はたくさんの夢をもっています、タイトルはその一つです。夢は一つでなくていいと思います。皆さんの夢は何でしょうか。

求めよ、さらば与えられん

人間生活環境教育専攻 幼児教育コース 山本聖祈



私にとって大学生活の4年間は、「人生で一番自分が変化した期間」であったと感じています。大学に入学する前は、何も考えずに日々を過ごしていた人間でしたが、今となっては自分の考えを持つことを大切にし、思っていることは伝えていかなければ損だ!と思うような人間です。私がそのように変化した理由は、やはり多くの方々との「出会い」があったからです。私に多くの出会いがあったのは島根大学の1000時間体験のおかげだと言っても過言ではないでしょう。島根大学生は幼稚園での保育補助や療育キャンプ、その他たくさんの体験活動に参加させていただけるチャンスがあります。1000時間体験では、大学にいただけでは絶対に出会うことはなかった方との出会いがあり、その出会いが更なる出会いへと繋がっていました。そして自分の中にはなかった考え方や価値観と触れ合い、それが面白く、自分の考えが深まっていくのを実感しました。「なぜ?それは本当に正しいの?」と問いかけて下さる先生、「だから、お前は甘いんだ!」と叱って下さる先生、飲み会で私の長所や短所を言って下さる先輩方、共に頑張った同級生や慕ってくれた後輩との出会いがあって今の自分があります。

私は島根大学には不本意入学でしたが、今となっては大学の名よりも、自分がどのように過ごすかが大切なのだと強く思います。「求めよ、さらば与えられん」と私はよく言われたもので、結局は自分次第なのです。出会いというものは用意されているわけではありません。求め、自分で掴もうとすることで自ずと世界は広がっていくのだと思います。

私は平成25年度から岡山市で幼稚園教諭・保育士として勤めることになりました。子どものありのままの姿や思いを「受け止める」こと、そうした上で保育者としての思いを子ども達に「伝える」ことを大切にして子ども達と関わっていきたいと思います。

島根大学、ありがとうございました!

私が1460日で学んだこと

言語教育専攻 英語教育コース 伊佐 春那



1460日——島根大学生として早くもそれほど長い期間を過ごしてきました。4年間で私は本当にさまざまなことを経験しました。1000時間体験にアルバイト、教育実習や海外への留学など大変だったことも今では良い思い出です。その中で多くのことを学びました。それをいくつか書きたいと思います。

まず、「とにかく行動してみる」ということです。何かに挑戦したいと思ったとき、私は不安ばかりが先走り、戸惑うこともたくさんありました。例えば留学したとき、英語がうまく話せず積極的に活動に参加することができませんでした。しかし、自分で動かなければ変わらないと決心し、何にでも挑戦するようになりました。その結果英語力だけでなく、新しい世界観や世界の広さを学んだ気がします。悩むばかりでなく行動に移することで、自分が考える以上に成長できるということを、身をもって学びました。

また、「強い思いをもつこと、それを伝えること」が大切だと思うようになりました。自分をうまく表現することは本当に難しいことです。時には意見が合わず、口論になってしまうことや疎遠になることもあります。しかし、こうしてすれ違いや互いに受け入れることを繰り返して深く関わるようになりました。そのおかげか今では、一生付き合っていける友人を見つけることができました。また、このように成長できたのは本当に両親のおかげだと思っています。これからは地元で精いっぱい親孝行していこうと思います。

来年度から中学校の英語教員として教壇に立ちます。今は不安と期待が入り混じっています。不安なことに臆せず「まず行動してみる」、先輩教員の方、保護者、子どもたちに「思いを伝える」。大学で学んだことを活かし、さらに努力をしていこうと思います。

自分で自分を学ぶ

初等教育開発専攻 三島 健



「小学校の先生になりたい!」という気持ちをもって、私は島根大学教育学部に入学しました。志は高いつもりでいた私ですが、どうすれば教師になれるのか、自分には何が必要なのか、そのようなことは考えずに、「無難に単位をとって卒業すれば、道は開けるだろう。」と楽観的な考えしかしていなかったように思います。

そんな私にとって、教育実習は衝撃的でした。それは、初めて教師という立場で子どもたちと関わったり、授業を実践したりする経験を積み、私自身の力不足を痛感したからです。このとき、「もっと学校現場で学びたい」「自分を高めたい」と強く思うようになりました。

そこで私は、1000時間体験学修を通じ、学生の募集がなかった母校の小学校に自ら志願し、長期間活動を行ってきました。母校実習では、職員室に机を置かせていただき、職員室の雰囲気や、教員間の連携の様子を間近で見ることができました。また、事務や用務、養護教諭の仕事体験や、学校行事の運営、生徒指導の立案など、ここでは語りつくせないほどたくさんの経験をさせていただき、今後自分自身の武器にしていきたい分野や、課題にしていきたいことなどを知ることができました。このような貴重な時間を与えて下さった母校の先生方、地域の皆様、大学の先生方には本当に感謝しています。

今しかない学生時代、私は「これだ!」と思い、母校実習に取り組んできました。しかし、10人いれば10通りのアプローチの仕方があると思います。就職活動を控えた後輩の皆さんも、大学生活の中で、自分で自分を学び、深めていける何かを見つけてほしいと思います。

私はこの春から、岡山県の小学校で教員として働きます。不安な気持ちもありますが、大学生活で学んだこと、そして教育実習、母校実習の現場での経験が、この先必ず役立ってくれると確信しています。

卒業生の声

自分を成長させたもの



初等教育開発専攻 新宮 彩夏

「島根県の小学校の教師になる」これは、私の小学校からの夢でした。私は、その夢を叶えるために島根大学教育学部に入学しました。大学生活は不安だらけのスタートでしたが、終わってみれば同じ夢を持った仲間や熱心な先生方と一緒に精進できる環境は私にとって本当に充実したものだったと思います。この環境のおかげで、島根県の小学校の教員として採用されたと言っても過言ではありません。

教育学部の魅力は「教員養成に向けた徹底したカリキュラム」と「1000時間体験学修」が徹底しているところです。座学での知識習得もとても大切だと思います。しかしそのことに加え、実際に現場へ出かけ、『身体で授業を感じる・子どもと触れ合う・学校の先生の話を聞く』という体験が必要だということを実感しました。講義で習得した知識は実際の体験によってより深い知識と自信に繋がります。そのような体験を推進している島根大学教育学部はどこの大学にも負けていないと思っています。正直、体験によって自分は教師に向いていないのではないかと自信をなくすこともあります。そのような時に頑張れたのは、自分の強い信念と共に学ぶ仲間、体験先での子ども達の笑顔のおかげです。

教育学部での4年間は「充実」の一言につきます。素晴らしいカリキュラムと先生方の手厚いサポートを信じて本当に頑張ってよかったです。また、「島根県の小学校の教員になる」という小学校の時からの夢に向かって強い信念をもって貫けたことは私の最大の強みだったと感じています。そして、4月からは夢ではなく本当の島根県の小学校の教員として教壇に立ちます。この教育学部でお世話になった方々への恩返しと島根大学教育学部出身としての誇りを持って、全力で笑顔を忘れず頑張ります。

大学生活を振り返って



健康・スポーツ教育専攻 草川 雄太郎

期待と不安の中でスタートした大学生活もあっという間に4年目になり、すぐ目の前に卒業を控えています。振り返ってみると、素晴らしい仲間に恵まれ、専門の知識はもちろん、他にも多くのことを学ぶことができた実りのある大学生活でした。そのきっかけとなったのが1000時間体験活動です。私は、3回生の後期の間ほぼ毎週、ある小学校へ行き、児童の学習サポートや先生方の授業サポートなどをさせて頂きました。学年によって異なる指導の仕方やさらに細かい児童一人ひとりにあった指導の仕方というものを学ぶことができました。また、なによりも児童の一生懸命学習に取り組む姿や先生方の児童への思いや熱意を目の当たりにすることで、「絶対教師になる!」という強い決意を抱くことができました。教育実習でくじけそうになった時も、この時の思いがモチベーションになって乗り越えることができました。苦しい時を乗り越えた時の達成感は、何事にも代え難く、また自分自身の成長の実感にも繋がりました。

島根大学教育学部には、1000時間体験活動だけでなく様々なセミナーが用意されており、将来、教員を目指す人にとって自分自身が成長できるための十分な環境が整っています。また教員を目指さない人にとっても、社会人として成長できることは間違いません。

私は、奈良県の小学校の教員採用試験に合格し、春から教壇に立つことになります。児童の成長を常に近くでみることができるという楽しみもありますが、正直、自分に務まるのだろうかという不安の方が大きいです。辛くて投げ出してしまいたい時も決して逃げずに、児童と共に成長できる教師を目指して日々精進していきたいと思います。

後援会活動の概要

平成24年度

1 学生教育活動の支援

- ①1000時間体験学修,面接道場,学生フォーラム,教師力パワーアップセミナー,びびっと広場など学生教育活動事業経費への助成
- ②3年生の実習セメスター又は基礎体験活動の交通費補助
- ③大学院生の学会発表等の交通費補助
- ④ICTルームの書籍整備への助成



面接道場



明るくて快適な
ICTルーム 金魚鉢

2 教育実習の支援

- ①教育実習を充実させるため,各実習受入校の実習経費への助成(学生が実習で使用する文房具や教材等への助成)
- ②教育実習ワークシート作成への助成

3 就職活動の支援

- ①教員志望学生の援助
教員採用試験に向けての対策と指導に関する経費
- ②企業志望学生の支援
就職ガイダンスを開催し,企業就職関連の各種セミナー等を行なう経費及び就職担当教員等を中心に,県内外へ出向いての企業就職開拓活動経費への助成
- ③就職支援室の書籍整備などへの助成
- ④4年生の就職活動の交通費助成

4 国際交流活動の支援

釜山教育大学校(韓国)との交流事業等への助成,テキサス大学,ミシガン大学学生との交流活動への助成

5 教育環境整備の支援

構内の教育環境の改善を図り,学生の生活環境の向上及び充実のための施設整備経費への助成(トイレ内整備,玄関の花壇整備など)



正面入口前広場の花や観葉樹

6 広報事業の実施

後援会事業活動報告及び学部の教育・研究活動並びに学生生活の様子等をお知らせするための後援会「機関誌」を発行

7 課外活動の支援

在学中における各種部活動,大学祭,寮祭,中四国大学学生競技大会参加等の活動費への助成



就職支援室

平成24年度

教育学部後援会幹事名簿

地区	氏名	課程	学生氏名	備考
隱岐郡	木村一則	院2年	木村佳則	
境港市	安達義昭	1年	安達和哉	副会長
米子市	大場明夫	4年	大場智子	
松江市	奥村忠孝	4年	奥村裕孝	監事
雲南市	景山博司	4年	景山雄平	
大田市	吉田芳英	4年	吉田彩乃	
米子市	山中茂樹	3年	山中詩織	副会長
米子市	村上忠祐	3年	村上祐太	
松江市	瀬尾欣也	3年	瀬尾勇樹	会計幹事
松江市	杉原英明	3年	杉原杏由美	
雲南市	熱田正規	3年	熱田千帆	監事
出雲市	勝部宏悦	3年	勝部さおり	会長
松江市	安食剛	2年	安食みのり	
松江市	板倉誠	2年	板倉直哉	
松江市	角田信	2年	角田仁志	
松江市	曾田稔	2年	曾田文夏	
出雲市	原浩幸	2年	原久恵	
出雲市	安達清志	1年	安達悠太	
米子市	景井芳則	1年	景井啓祐	
出雲市	吉野功	1年	吉野ゆうか	
松江市	原田和雄	1年	原田扶未子	

(21名／順不同)

○発行 島根大学教育学部後援会

E-mail edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp

ホームページURL <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/edu/koenkai.html>

○発行日 平成25年4月1日

○発行所 島根大学教育学部内 教育学部後援会事務局

○所在地 〒690-8504 松江市西川津町1060

TEL(0852-32-6251) FAX(0852-32-6259)

○印刷 ぷりんとはうすM2エムツー